

児童朝会 校長の話 10月5・6日

6年生は先週の木曜日と金曜日で、台東区移動教室に行ってきました。感染症のために遠くには行けませんが、スカイツリー、浅草の町を見学し、浅草ビューホテルに泊まりました。いない間5年生が6年生の代わりにしっかりと仕事をしてくださっていたと聞きました。5年生、ありがとうございました。

この写真は、夕食をいただいてその後レクリエーションを行った会場から私が撮った夜景です。スカイツリーが中央に見え、手前には浅草寺や五重塔がライトアップされています。浅草の素晴らしい町が広がっています。景色も素晴らしかったのですが、6年生の態



度は更に立派でした。しおりのあちらこちらに「場に合わせた行動に心がける」と書いてありましたが、「場に合わせる」といのは、「静かにしなさい、並びなさい、早くしなさい…」など先生に言われなくても自分で判断して行動するということです。それが6年生はしっかりできていました。自分で考えたり声を掛け合ったりして行動していました。6年生の成長した姿をたくさん見ることができました。

そして、この移動教室を通して浅草の町の素晴らしさを6年生と一緒にたくさん発見してきました。浅草の町をボランティアガイドさんに案内していただきましたが、こう話していました。「日本中どこにでもたくさんのお寺や神社がある。その中で浅草寺や浅草神社が日本で1・2位を争う人気の観光地になり、たくさんの参拝客や観光客が訪れるのは、浅草の町の人たちが浅草を愛して魅力ある町にしようと努力と工夫を重ね、伝統を絶やさないように受け継いで守り抜いてきたからです。」

この写真は浅草文化観光センターの8階から見た、仲見世商店街の様子です。6年生もお土産を買いました。雷門から宝蔵門まで緑の屋根が続いているところがお店です。普通、お寺の境内の中に店が並ぶことはありません。仲見世商店街はどうやってできたかという、江戸時代、浅草寺にお参りに来る人が増えて、参道にゴミが多くなりました。そのゴミの掃除を浅草の町の人に頼みましたが、その代わりに参道にお店を出してもよいことになりました。



それが仲見世商店街になりました。日本で最も古い商店街だそうです。この写真



は大正時代の仲見世の様子です。こうして仲見世商店街は300年近くずっと賑わっています。

また、浅草神社では三社祭が行われています。江戸三大祭りと言われ、例年180万人の人が全国から集

まります。1300年頃から始まり、年中行事としてお祭りをずっと受け継いで守ってきた人たちがいるので、700年も続いています。



更に、この移動教室を通して感じたのは、浅草の町のおもてなしの心です。ホテルの部屋に着くと、私たち



一人一人にサプライズのメッセージとプレゼントが用意されていました。学校名と日付の入ったお箸です。メッセージには、「今日の日が楽しかった思い出の一つとしていつまでも振り返ることができるように記念としてお持ち帰りく

ださい。」「スタッフ一同心を込めておもてなしを致します。…」とありました。ホテルで素晴らしいおもてなしをたくさん受けましたが、それに応えた6年生も素晴らしかったです。宿泊してホテルを後にするとき、部屋には、ホテルの方への感謝の手紙がたくさん置いてありました。ホテルの方に渡したいと手に持っている6年生もいました。浅草の町の素晴らしさをたくさん発見し、感じた移動教室でした。

皆さんにも浅草の町を大切にしたいですし、その浅草の町にある学校に通っていることを誇りに思い、楽しい学校生活を送って欲しいと思います。